

らんこしボランティアだより



ほほえみ

No.81

蘭越町社会福祉協議会
令和6年3月1日

🗑️ プルタブで車いすをもらおう(プルタブ収集状況) 🗑️

令和5年12月にプルタブ3袋(約75kg)をプルネットへ送らせていただきました。

現在の集荷キ口数は370kg(収集期間は令和2年4月～令和5年12月)となっており、車いす1台と交換できる700kgまで皆様のご協力をお願いいたします。

(過去交換実績 平成19年、平成25年、令和2年 各1台)



ボランティア 登録者募集中!

お気軽にお問い合わせください

蘭越町ボランティアセンター

蘭越町8番地2

ふれあいプラザ21内

57-5203

～社協災害ボランティアセンターより～

●災害時の備品について

社協で保管しておりました介護用エアマットを、災害時に利用できるように災害時備品として位置付けをいたしました。



●北海道地域防災マスター認定講習終了者

北海道では、ボランティアにより防災研修や災害への備えなどの防災に関する普及啓発等を行い、災害時は、避難誘導や避難所の運営などにおいて中心となって活動いただける方を「北海道地域防災マスター」として認定しています。

当協議会において2名の職員が登録しております。

○日野 一也総務係長【令和5年1月27日】

○佐々木脩太総務係主任【令和5年10月14日】

*蘭越町内では11名が認定者として登録されております。

*令和6年度に実施される防災マスター認定講習会に参加希望の方は、事前にボランティアセンターまでご連絡をお願いいたします。

令和6年能登半島地震災害義援金の受付について

令和6年1月1日に発生した能登半島を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生しました。

この災害発生に伴い、中央共同募金会では、被災された方々の支援を目的に義援金の募集を実施することになり、蘭越町共同募金委員会窓口においても義援金募集に協力しております。

皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

【受付期間】 令和6年6月28日(金)まで

社会福祉施設へコカ・コーラ製品贈呈

12月に北海道コカ・コーラボトリング株式会社のCSR活動(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)としてペットボトルジュース等の寄贈を受けました。

当会へのこの活動は平成24年から毎年続いており、一灯園・グループホームらんこし・愛星学園・高齢者センターめな・こんぶの5施設の入所者及び職員の方々へお届けいたしました。

住み慣れたご自宅で暮らし続けるために、 「ちょっとした手助けがあったらいいなあ」と 思うことはありませんか？

J & B 倶楽部は、公的支援の対象にならない困りごとなどのお手伝いをしようと、主に主婦の方々(50～70代)で活動しています。

- 御用聞き(困りごと調査)にまわります!
どんな困りごとがあるのか、お手伝いできることがあるのかをお聞きするため、3月6日(水)～10日(日)に、メンバーの支え隊員が町内の高齢者宅と思われる家を訪問します。
全てをまわることはできないので、「うちにも来て!」と希望される方は、事務局にご連絡を!
- 生活支援のお試しサービスを実施!(無料、先着30世帯)
家のお掃除、片付け、調理、重い家具の移動、スマホ操作、話相手など、1時間分(2人で訪問時は30分)の生活支援をお試しいただけます。
この機会にぜひ、元気な J & B を呼んでみては。
☆お問い合わせ・詳細は、J & B 倶楽部
事務局の原田さん TEL090-8706-4995
(土日もOK)



←男所帯で、たまには家庭料理を!

蘭越高校生から 高齢者へ年賀状

毎年、蘭越町のひとり暮らし高齢者と一灯園及びグループホームらんこしの入所者の方に、蘭越高等学校の生徒たちが一枚一枚に宛名等を書き入れ年賀状を送付しております。

今年は約340名に、辰年のイラストと生徒たちの写真入りの年賀状を送りました。



蘭越高校生による除雪ボランティア活動が行われました

2月2日(金)、蘭越高校1・2年生により、町内の高齢者住宅3世帯の除雪ボランティア活動が行われました。

当日は終始雪が降りしきり、時折強風が吹く不安定な天候の中での作業でしたが、一生懸命、頑張ってくれました。

蘭越高校の皆さん、ご協力本当にありがとうございました!



～紙製共同募金箱作成～

町内の全世帯に配布する、令和6年度紙製募金箱約2,000個のうち1,000個の作成を、昨年度に続き蘭越小学校6年生の児童17名にご協力いただいております。

今年で4回目となり、2月6日に学校へ訪問して、赤い羽根共同募金運動の説明をさせていただき、早速作成に取りかかりました。また、これまでどおり母子寡婦会会員で、残りを3月に作成する予定となっております。



作成いただいた紙製募金箱は、4月中旬に行政協力員さんを通じて町内の各ご家庭へお届けする予定となっておりますので、今年も赤い羽根共同募金活動のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。